

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【公表番号】特表 2014-511798 (P2014-511798A)

【公表日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2014-026

【出願番号】特願 2014-504406 (P2014-504406)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/01 (2006.01)

B 6 4 D 11/06 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/01

B 6 4 D 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 30 日 (2015.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a. 座席と

b. 可変の長さの足下空間アセンブリと

を備え、

前記足下空間アセンブリが、前記可変の長さをもたらしように、延長位置と格納位置の間を動くように構成された延長部を備える座席ユニット。

【請求項 2】

前記足下空間アセンブリが、固定位置部をさらに備える請求項 1 に記載の座席ユニット。

【請求項 3】

前記延長部が、前記固定位置部に入れ子式に出入りする請求項 2 に記載の座席ユニット。

【請求項 4】

シェルをさらに備える請求項 3 に記載の座席ユニット。

【請求項 5】

前記シェルと前記足下空間アセンブリが連結されている請求項 4 に記載の座席ユニット。

【請求項 6】

前記シェルは、使用時に、第 2 の座席を少なくとも部分的に囲む請求項 5 に記載の座席ユニット。

【請求項 7】

前記延長部は、踏み段として機能するように構成された上面を有する請求項 3 に記載の座席ユニット。

【請求項 8】

前記座席ユニットは床を有する航空機で用いられ、前記延長部は、使用時に延長されると、前記航空機の前記床に存在する間隙に突き出る請求項 7 に記載の座席ユニット。

【請求項 9】

前記航空機の前記床に取り付けるための手段をさらに備える請求項8に記載の座席ユニット。

【請求項 10】

航空機の座席をベッドに変えるための方法であって

- a．前記航空機の座席の背もたれを、主に水平に方向付けることと
- b．前記航空機の座席の足支持体を長手方向に延在させることと
- c．足下空間アセンブリの可動部を長手方向に延在させることと

を備える方法。

【請求項 11】

輸送機関内に配置されるように構成された複数の座席ユニットであって、

- a．第1の乗客によって用いられるように構成された第1の座席と
- b．第1の座席の少なくとも一部の側方に隣接し、且つ、第3の乗客の足を受けるように構成された第1足下空間アセンブリを備える第1補助ユニットと
- c．第2の乗客によって用いられるように構成された第2の座席と
- d．第2の座席の少なくとも一部の側方に隣接し、且つ、(i)可変の長さを有し(i)第1の乗客の足を受けるように構成された第2足下空間アセンブリを備える第2補助ユニットとを備える複数の座席ユニット。

【請求項 12】

- a．第3の乗客によって用いられるように構成された第3の座席と
- b．複数のシールドであって、それぞれが、第1の座席、第2の座席、及び第3の座席の1つを少なくとも部分的に囲うシールドとをさらに備える請求項11に記載の複数の座席ユニット。

【請求項 13】

少なくとも第2足下空間アセンブリが最小長さである場合、第2の乗客が前記輸送機関の通路に行けるように、長手方向の間隙が、第2足下空間アセンブリと第3の座席を少なくとも部分的に囲んでいる前記シールドの間に存在する請求項12に記載の複数の座席ユニット。

【請求項 14】

少なくとも第2足下空間アセンブリが最大長さである場合、第2の乗客が前記輸送機関の通路に行けるように、第2足下空間アセンブリの少なくとも一部が踏み段として機能する請求項12に記載の複数の座席ユニット。

【請求項 15】

第1の座席、第2の座席、及び第3の座席のそれぞれが、前記輸送機関の縦軸に対して角度がつけられた座席の縦軸を有する請求項14に記載の複数の座席ユニット。

【請求項 16】

第1の座席及び第3の座席は、前記輸送機関の前記縦軸に対して同様に角度がつけられており、且つ、第2の座席は、前記輸送機関の前記縦軸に対して、第1の座席及び第3の座席とは反対に角度がつけられている請求項15に記載の複数の座席ユニット。